

『広い歩道 大実験!!』を実施しました!!

～ 魅力ある「まちば」の再生の促進 ～

県南広域振興局土木部 千厩土木センター

県土整備部では、今年度から『魅力ある「まちば」の再生』を支援するため、地元商店街や地域住民との協働により、道路整備と連動したまちづくりを推進しています。

千厩土木センターでは、その取組の一環として、平成22年10月25日から31日の7日間、一関市千厩町の国道456号沿いの商店街で、将来の歩道整備に向けた社会実験『広い歩道 大実験!!』を地元や一関市と協力して実施しました。

今後は、アンケート調査結果などを参考に、将来のまちづくり・道づくりの方針を「千厩まちば再生協議会」で議論していきたいと考えています。

【一関市千厩町のまちば再生に向けた取組の概要】

一関市千厩町のまちば再生に向けた取組として、平成21年度に地元商店街と一関市において懇談会を開催

「住むことが楽しいまち」「四季を感じられるまち」「歩いて楽しいまち」「歴史を受け継ぐまち」「賑わいのあるまち」という5つの柱を基本に、地元・一関市・県が協働しながらまちづくりに取り組んでいく『ふれあいの道づくり計画』を作成

平成22年度に、地元商店街・各種団体・一関市・県を構成員とする『千厩まちば再生協議会』を組織し、『ふれあいの道づくり計画』の実施に向けた方策を検討

平成21年度に実施したアンケートでは、商店街の中心部を通る国道456号について、「歩道が狭い」「大型車が多く、速度も速いため危険」などの問題が挙げられていたことから、国道456号の歩道を広げ、車道を狭める歩行者優先の整備の可能性を検討するため、実証実験を行ない、影響を検証

実証実験に併せて、「賑わいのあるまち」の実現に向けたイベント等の地元の取組についても協議会で企画・検討し、実証実験と同時に開催

歩道拡幅のイメージ



実験の様子(小学生の下校状況)



土日に開催したイベントの状況

